

2018年12月5日
阿 蘇 市
竹 田 市
九州旅客鉄道株式会社

阿蘇市、竹田市、JR九州の三者による
「JR豊肥本線を活用した観光振興のための協定締結」について

このたび、阿蘇市、竹田市、JR九州の三者は、「JR豊肥本線を活用した観光振興のための協定（以下、「協定」という）」を“県境”ならびに“官民”の枠を越えて締結し、豊肥本線を活用した観光振興について共同で検討を深めていく取り組みを行ってまいります。概要は以下の通りです。

1 協定締結に至った経緯、目的 等

(1) 背 景

平成28年熊本地震の影響により、阿蘇地域をはじめ様々な箇所において災害が発生しました。なかでも、阿蘇カルデラの縁にあたる立野峡谷では、想像を絶する土砂崩れに遭い、主要な国道57号やJR豊肥本線は不通のままであり、その復旧には見通しが立っていないのが現状です。この熊本地震から約2年が経過しているところですが、この現状をネガティブに捉えず、むしろポジティブ的視点に立った中で、熊本県阿蘇市と大分県竹田市は、県境を越え、協働して観光復興に向けて取り組めないかといった検討を深めて参りました。

その中で、両市としてはJR九州に対し一刻も早い豊肥本線の復旧等を働きかけると同時に、現在の状況の中で、豊肥本線を活かして観光振興を図っていくことも検討事項として優先すべきではないかと考え、JR九州を加えた三者での協定締結に至った次第です。

(2) 協定締結の目的

阿蘇市と竹田市は、九州中央に位置する「阿蘇くじゅう国立公園」に位置し、自然、温泉、歴史、文化等の豊かな地域資源を有しており、農業と観光を基幹産業としたまちづくりを進めています。主要交通網である国道57号とJR豊肥本線が東西に走っており、大分 - 熊本間の交通の主軸となっていますが、平成28年4月に発生した熊本地震の影響により大きな被害を受け、現在もなお肥後大津駅から阿蘇駅間が不通となっており、生活者はもとより観光客の足に多大な影響を及ぼしています。

このような状況下、2019年にラグビーワールドカップの試合が大分・熊本両県で開催され、2020年には東京オリンピックが開催され、インバウンドが増加する見込みです。

そこで今、この時を好機と捉え、九州中央で阿蘇市と竹田市が訪日外国人旅行者の受け皿になるべく、JR九州と官民協働によりJR豊肥本線の復旧後を見据えた仕組みづくりを構築しながら、同線の利用促進、地域交流による活性化を図ります。

九州中央で県境を越え官民協働で地域活性化を目指す！

2 締結日および有効期間 締結日：2018年12月5日

有効期間：締結日より2021年度末まで

3 具体的取り組み

(1) JR豊肥本線の利用促進

- ・ D&S列車（観光列車）「あそぼーい！」「九州横断特急」を活用した更なる利用促進
- ・ JR九州レールパスによるインバウンドのお客さまの利用促進

(2) 地域交流による地域活性化策

- ・ 阿蘇駅、豊後竹田駅を中心としたJR各駅からの着地型商品造成
- ・ 阿蘇駅、豊後竹田駅からの二次交通の整備、及び二次交通を利用した地域活性化

(3) 3カ年計画による事業提案

国への支援なども求めながら、2019年度を初年度とする3カ年のスパンで阿蘇・竹田の観光地域づくりを進め、九州中央のディスティネーションの位置を確立します。

<3カ年で取り組む事業イメージ>

- ・ 阿蘇竹田のビジュアルイメージ創出（ストーリーづくり）
- ・ 外国人専門家と歩く地域づくりワークショップ
- ・ JR利用パッケージ商品企画開発
- ・ ゲストハウスのネットワーク化
- ・ 駅前着地プログラムの開発（地域人おもてなし戦略）
- ・ JR九州と連携した海外プロモーション活動
- ・ 二次交通環境の実証アトラクション
- ・ D&S列車「あそぼーい！」「九州横断特急」利用促進キャンペーン展開
- ・ 阿蘇竹田まちなみガイドブック発行

以 上